

2次直前対策通学コース

Y・Mさん

私は24年度2次直前対策日曜コースに参加いたしました。

1次だけで手がいっぱいだったため2次は8月に準備ゼロからスタートして、それでも合格できたのは、MMCの皆様のおかげです。ありがとうございました。

私の約1年間の勉強方法について、すこし、振り返ります。これから勉強を始める方のご参考になれば幸いです。転職に伴い、広い経営マインドが必要なポジションについたため、経営全体の知識を広げる必要性を感じていたところ、知人から中小企業診断士試験を聞き、自己啓発のため受験することにしました。

勉強は24年3月からのスタートと遅かったので、一次は7科目のうち、半分程度受ければよいと安易に独学で始めました。しかし一部の科目は実務で習得した知識も多かったこともあり、運よく1次は合格しました。

以下、1次の振り返りです。

《1次対策:インプット中心の独学》

大対策手受験1次校のテキストを2回から4回程度繰り返し、科目別に読み込みました。最初は科目ごと2週間近くかけて丁寧に読み、そのあとは、1科目1週間以内で1回のサイクルで読みました。忘却の速度を考慮して、繰り返しのインターバルは初回は2週間、次は、1ヶ月といったスケジュール管理を行い記憶の定着を図りました。インプットののち、問題集を1科目1週間程度で2回転させ、最後に過去問を2-4年分程度やって仕上げとしました。

科目別では、実務経験の全くない中小企業経営・企業政策には時間をかけ、中小企業白書にも取り組み、得点源にすることができました。財務・会計と経済学は回答速度を重視し、できそうな問題をさっと見分ける『勘』を身につけるように心がけました。

《2次に向けて》

1次合格時点で、2次はまったく手つかずで、それまで問題も見ただけの状態でした。

さっそく、某予備校の出版している2次対策の問題集を購入し勉強法を検討しましたが、合格レベルの答案の基準がわからないこと、また制限時間内でどのように模範解答に近い答案を作成できるのか、方法がわからないため、2カ月という短期間で独学では合格は無理と判断しました。そこで受験校への通学を考え、何校か話を聞かせていただきましたが、指導方法・回答方法が一番論理的に思われたのがMMCでした。また、受講したその日のうちに、添削指導が受けられるという点も、時間セーブのため大変有効と考えました。いろいろな方法を試している余裕もないので、2ヶ月間をMMCにかけてみることにいたしました。

以下、2次について振り返りです。

《2次対策:MMC答練と過去問》

MMCの答練に参加し、2次対策の数多くのノウハウを伝授いただきました。

私にとって貴重だったノウハウは①事例と設問文の読み方・題意の捉え方、②MCサークルによる切り口の具体的な運用方法、③自分なりのキーワード集をもって改善案等の引き出しを作る方法、④文章のパターン化の方法、です。

答練の回数は12回と限られていましたが、解説の時間で効果的なヒントを下さり、また、答案には、その日のうちに、丁寧に添削・指導いただき、さらに、再答案も添削、加えて、随時、メールでも質問できる等、非常に手厚いサポートをいただきました。答練の後には、どのような問題でも、なんとかマス目はうめられるようなノウハウを獲得できたように思われました。

答練終了後の9月後半からの1カ月は、過去問中心の学習を行いました。事例Ⅰ—Ⅲについては、自分なりの時間配分や回答手順を徹底し、『それなり』の内容で制限時間内でマス目を確実に埋めることを意識しました。回答時間を浪費しないため消しゴムを使わずに事前に構成をまとめてから書く習慣にこだわりました。事例Ⅳについては、経営分析・損益分岐点分析・設備投資効果計算・企業価値等の頻出問題は一定時間内に確実に正解がだせるまで、繰り返し解きました。

本番になれるため模試もMMCで2回参加しましたが、採点と添削が丁寧に励みになりました。第3回(8月)の245人中188位から、第4回(9月)で476人中57位と上がり自信もつきました。

《2次に合格して》

短期間であったけれど、やれることはすべてやったと信じて臨みました。

ところが、午前の事例Ⅱで、知識不足からの外れな回答を行う大失点をしました。それをすでに昼休み中に把握していましたから、挽回不可能だろうとおもって、午後の事例Ⅲ・Ⅳは、気楽に受けました。にもかかわらず、みっちりやったはずの事例Ⅳも良い出来ではありませんでした。

結果は、まったく意外なことに合格でした。合格者数が増えたことですくわれた面もあると思いますが、やはり、MMCの方法論を徹底したことで、合格レベルの解答がなんとかかかっていたのかもしれませんが。2カ月という短期間でノウハウを伝授してくださった、MMCの先生方に負うところが大きかったと思います。あらためて、ご指導ありがとうございました。